

11²⁰²¹
16
(火)

カーボンニュートラル 実現のための 省エネ設備と補助金活用

設備投資関連

WEBセミナー **LIVE** 配信

受講料
無料

・主催：(一財)省エネルギーセンター ・協賛：ダイナエアー(株)
・協力：ニチアス(株) / AGCグラスプロダクツ(株) / (株)イースリー

2020年度の国内の設備投資額は、新型コロナの影響により製造業だけでなく非製造業も大きく落ち込んだ。一方、2021年度計画は、コロナ禍で見送った投資の実施、脱炭素やデジタル化の加速も踏まえた投資等もあり、製造業を中心に持ち直す計画が増えていると報告されている。カーボンニュートラルに向けて社会が動き出す中、新たな時代に向けた「令和4年度の概算要求」が提出された。脱炭素社会に必要とされる補助政策とその対象製品の「性能や導入事例」をご紹介することで、これからの設備投資における要点を視る。本セミナーでは、カーボンニュートラル時代の設備関連の概算要求について考えていく。

定員
200名
(先着順)

カリキュラム 14:00~17:00

接続の開始は13時45分頃からを予定しています。
※内容やタイトルが変更になる場合があります。

講演1 設備投資関連における 令和4年度 概算要求を読み解く

1-1 ・カーボンニュートラルを取り巻く 最近・最新の動向

講師：一般財団法人 省エネルギーセンター

1-2 ・補助金を活用した設備投資のすすめ

特任講師：株式会社イースリー

2050年までのCO₂排出量削減に関する政策目標を達成するためには、全ての業界で脱炭素化を促進していく必要があります。令和4年度の概算要求では、経産省・環境省・国交省を中心に、カーボンニュートラルに繋がる設備投資に係る補助事業が数多く提出されています。我が国の脱炭素施策を取り巻く状況を再確認し、省エネルギーの「これから」を考えて行きます。また特任講師を迎え、来年度の注目すべき補助事業について、業種や設備種類に合わせた「活用ポイント」も解説いたします。

60分

講演2 45℃排温水を熱源とする外気処理（加湿・加温）による 蒸気ボイラーの焚き減らして CO₂排出量を1/3にする想定事例

講師：ダイナエアー 株式会社 / 2019(令和元)年度省エネ大賞受賞

中温域の排熱や自然熱、ヒートポンプを利用して強力な除湿と加湿を行うことのできるリキッドデシカント空調機（液式調湿空調機）を用いて、生産ラインの空調システムからのCO₂排出量を大幅に削減する事例についてご紹介いたします。

講演3 熱輸送配管の熱ロス削減 エアロジェル増し保温®工法

講師：ニチアス 株式会社 / 2018(平成30)年度省エネ大賞受賞

見落とされがちな、熱輸送系配管などの保温材劣化により大きな熱ロスが発生しています。サーモグラフィによる熱ロスの見える化と、保温材を解体すること無く稼働中でも施工が可能な『エアロジェル増し保温®工法』による省エネ対策をご紹介します。

講演4 窓から考えるシリーズ ~太陽光発電編~

講師：AGCグラスプロダクツ 株式会社

/ 2013(平成25)年度省エネ大賞受賞

窓ガラスで創エネし、カーボンニュートラルやZEBの実現に寄与するAGCの窓一体型発電ガラス「サンジュール」を中心に、ご紹介いたします。「サンジュール」はガラスの採光性と耐久性を生かし、様々な場所で利用いただけます。実際の施工事例も交え、ご説明いたします。

講演の合間に、5分程度の休憩をとる予定です。セミナー講演終了後、16:50ごろからQ&Aの実施を予定しております。

※本セミナーは、Web会議・セミナーツール「Zoom」によるLive配信のセミナーです。

お申込み確認後、事務局よりZoomの招待メールを送信いたします。

要事前申込

お問い合わせ

省エネルギーセンター 人材育成推進部

◆電話 03-5439-9774 ◆メール seminarjyukousya@eccj.or.jp

参加お申し込みはこちらの「WEB」フォームをご利用ください。

テキストの事前配布は行いません。ご希望の方は、セミナー終了後各講演企業にご連絡ください。
申し込みフォームがご利用いただけない場合は上記アドレスにメールにてお申込みください。

※本セミナーを受講するには、パソコン等をインターネットに接続できる環境が必要です。

申し込み
しめきり日
11/9

